

社会福祉法人やまびこ福祉会
「組織再興マニフェスト」



(法人ロゴマーク)

《チームスローガン》

パワー オブ ヴォイス

Power of Voice
(コエノ、チカラ)

—声をきく 声をあわす 声をとどける—



Yoo-hoo!

(やまびこ福祉会のゆるキャラ・ヤッホーくん)

1. 大いなる試練に直面する「やまびこ福祉会」

1986年度の無認可作業所創立から、障害者とその家族のねがいに応えながら事業内容を広げ充実してきました。しかし、創立から32年目のいま、私たちやまびこ福祉会は大いなる試練に直面しています。

ここ数年の間に私たちやまびこ福祉会が経験した利用制限や事業縮小はまさしく苦難の連続でした。障害者とその家族のねがいに応えられず、つらい思いをさせてしまいました。職員集団においても見通しのなさなどから多数の離職を招いてしまいました。地域の中で培ってきたやまびこ福祉会に対する信頼が大きく揺らいでいます。

【実践分野】

通所部門では、通所事業所の統合再編（2017年度～）による事業縮小をおこないました。居宅部門では短期入所の事業廃止（2016年度～）とホーム利用定員の縮小（2014年度～）などをおこないました。利用者のニーズがある中で、苦渋の選択でした。

【運動分野】

国内外の当事者の尽力により、政策レベルでは「障害者権利条約の批准」や「障害者差別解消法の施行」など着実に前進しています。しかし、法人レベルでは当事者の声にもとづく運動活動が停滞し、国会請願署名の協力者数の減少にそれが表れています。

【経営分野】

事業の進展に欠かせない職員にかかわって、採用・育成・定着の一連のサイクルで課題があります。事業縮小などにより利用者は不安を抱え、当然ながらニーズを満たすために他事業所を併用する場合があります。利用率の低下は経済的課題に発展しうるものです。

■沿革（略年表）

(1) 創立以降 …※無認可時代	
1986年度	「やまびこ共同作業所」開所⇒創立元年
1995年度	「第2やまびこ共同作業所」開所
1999年度	「小規模障害者活動センターやまびこ（第3やまびこ）」開所
(2) 法人設立以降	
【① 拡張期】	2002年度 「社会福祉法人やまびこ福祉会」設立
	2004年度 「居宅介護事業所わっしょい」開設
	2005年度 「グループホーム明」開設
	2006年度 「結の家」合流（※通所部門第4の事業所として法人参加に加わる）、 「短期入所（ショートステイ）やまびこ」開設
	2008年度 「第5やまびこ」開設
	2011年度 「法人本部」などを含む拠点「ほっとハウス」開設（※旧第3など移転統合）、 「ケアホーム明・2号館」開設
	2012年度 「相談支援事業所わっしょい」開設
【② 縮小期】	2013年度 「相談支援事業所わっしょい」休止
	2014年度 「ケアホーム明・2号館」廃止（定員減）
	2016年度 「短期入所（ショートステイ）やまびこ」廃止、「居宅介護事業所わっしょい」廃止、 「やまびこ共同作業所（生活介護）」廃止→「第5」へ統合再編
【③ 再興期】	2017年度 「通所支援部門」は3拠点（第2、第3、第5）、「生活支援部門」は1拠点（明） ★法人組織の立て直しに向けた“再興元年”
	2020年度 やまびこ創立35周年の節目を迎える

2. 「やまびこ福祉会」が培ってきた希望

大いなる試練の中ではありますが、私たちやまびこ福祉会は希望を失ったわけではありません。当事者（障害のある本人とその家族）を中心におき、地域の中でともに手をたずさえて、じっくりと対話をとおして、培ってきたすべてが希望です。「当事者中心、地域との連携、対話の重視（＝3つの“T”）」はその時から受け継がれている生命線です。

私たちやまびこ福祉会の歴史をひも解けば、何もない無認可共同作業所からのスタートでした。いえ、唯一持ち続けられたのは「人」です。私たちやまびこ福祉会の考え方に共鳴する人たちがいつも絶えることなく居続けてくれることが支えとなりました。

【実践分野】

何よりもやまびこ福祉会のこと大好きな当事者がいます。元気な声あるいは穏やかなまなざしが各自の思いを表現しています。家族もそんな姿をよく見えています。そして、試練の中でも続けて頑張ろうという強い思いを持った職員集団がいます。

【運動分野】

私たちやまびこ福祉会の「地域委員会」を中心に、地域との連携は地道に続けてきました。地域共同で開催する『おさんぽフリマ』では参加者の多くの笑顔が見られます。2017年度からは法人全体での参加企画へと位置づけ、さらなる飛躍への期待が膨らみます。

【経営分野】

私たちやまびこ福祉会に新たに加わる当事者や職員も少しずつですが増えています。事業統合などの成果で財政安定化に成功しています。全体の舵取りを担う理事会・評議員会の改編もおこない、組織の立て直しへの準備は整いました。

3. 私たち理事会の使命は「組織再興の基盤づくり」

以上のような危機の中、私たち理事会（第二次・土屋修理事長体制）が2017年6月に起動しました。私たち理事会の最大の使命は「組織再興の基盤づくり」です。

試練に直面するいまこそ、私たちやまびこ福祉会が創立時から大切にしてきた原点に立ち返ることが大切です。そんな原点を「チームスローガン」に託します。

関係者ひとりひとりの「声」がやまびこ福祉会の「力の源泉」です。

響き合う「コエノ、チカラ＝Power of Voice」で、直面する大いなる試練を乗り越えていけると信じています。

《チームスローガン》 *Power of Voice*（コエノ、チカラ）

▶ 声をきく

⇒当事者のねがいが出発点になります。当事者の声、声なき声にも耳をすませていきます。

▶ 声をあわす

⇒やまびこ福祉会の発展のためには当事者と支援者の協力が欠かせません。地域との協力も重要です。これらの関係者とともに、声をあわせていく努力を重ねていきます。

▶ 声をとどける

⇒当事者の声にもとづき、具体的な改善策につなぐことが重要です。声をとどけるということです。縮小した事業の再興、権利条約の実質化、経営基盤の強化を目指します。

4. 私たち理事会が考える「重点目標」

最大のテーマである「組織再興の基盤づくり」を具体化する内容を、「重点目標」にまとめます。また、私たち理事会の任期にあわせて、2年（4期）のスパンでスケジュールも示します。

これらの内容は現時点（2018/3/25）で想定するもので、半期ごとの進捗と直近の課題をふまえ、つづく半期ごとの重点目標を再設定していきます。

■2017年度後期の重点目標

【実践分野】

- ・人材育成にむけて「研修委員会」を始動します。
- ・実践年度と通常年度の「再統合」に向けた準備をします。

【運動分野】

- ・『おさんぽフリマ』開催にあたり、法人全体企画に位置づけなおします。
- ・きょうされん国会請願署名の「学習」と「活動」に取り組みます。

【経営分野】

- ・やまびこ福祉会の「組織再興マニフェスト」を策定します。
- ・やまびこ福祉会の公式HPなど「情報発信」について改善します。

■2年（4期）のスケジュール原案

①2017年度後期

時期	実践分野	運動分野	経営分野
2017/10 ～ 2018/3	<ul style="list-style-type: none"> ・研修委員会始動 ・実践年度と通常年度の再統合に向けた準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・『おさんぽフリマ／秋』を法人全体企画に位置づけ ・KSR署名学習と活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・「組織再興M」の策定 ・情報発信改善（HP、パンフ、FB、掲示板、など）

②2018年度前期

時期	実践分野	運動分野	経営分野
2018/4 ～ 2018/9	<ul style="list-style-type: none"> ・実践年度再統合 ・実践会議の再編 ・研修計画始動 ・実践強化策の実施 ・仕事開拓委員会始動 	<ul style="list-style-type: none"> ・『おさんぽフリマ／春』開催 ・KSR国会請願への代表派遣 ・KSR東海B被災地研修への代表派遣 ・KSR愛知大会準備の協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材ビジョン策定 ・人材育成および確保推進 ・やまびこ35周年企画検討

③2018年度後期

時期	実践分野	運動分野	経営分野
2018/10 ～ 2019/3	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな仕事開始の準備（助成金申請など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・『おさんぽフリマ／秋』開催 ・KSR署名学習と活動 ・KSR愛知大会準備の協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅関連事業の再興準備 ・通所拠点施設整備の準備 ・やまびこ35周年企画準備

④2019年度前期

時期	実践分野	運動分野	経営分野
2019/4 ～ 2019/9	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな仕事開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・『おさんぽフリマ／春』開催 ・KSR国会請願への代表派遣 ・KSR東海B被災地研修への代表派遣 ・KSR愛知大会準備の協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅関連事業の再興準備 ・通所拠点施設整備の準備 ・やまびこ35周年企画準備

注）上記表の中で「きょうされん」を「KSR」と、「マニフェスト」を「M」と、それぞれ省略する。